

2026年4月9日

各位

会社名： 日本エンタープライズ株式会社
代表者の役職名： 代表取締役会長兼社長 植田 勝典
(コード番号 4829 東証スタンダード)
問合せ先責任者： 専務取締役 田中 勝
TEL： 03-5774-5730

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年7月11日に公表した2026年5月期(2025年6月1日～2026年5月31日)の連結業績予想の修正、個別業績予想の開示につきまして、下記のとおりいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2026年5月期通期連結業績予想の修正(2025年6月1日～2026年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,330	百万円 240	百万円 250	百万円 155	円 銭 4.02
今回修正予想(B)	4,580	85	110	45	1.17
増減額(B-A)	△750	△155	△140	△110	
増減率(%)	△14.1	△64.6	△56.0	△71.0	
(ご参考)前期実績 (2025年5月期)	4,442	67	89	21	0.56

<修正理由>

売上高につきましては、クリエイション事業においてキッキング支援の大幅な増進、コミュニケーションの増加により「ビジネスサポートサービス」が伸長する一方、「コンテンツサービス」が広告戦略の見直し等により想定を下回り、またソリューション事業においてIT技術の急速な進展に伴う人材不足により「業務支援サービス」の拡大が想定を下回ることから、750百万円減の4,580百万円を見込んでおります。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上高が当初予想を下回る他、キッキング支援(代行サービス)の伸長に伴う外注費の増加等により営業利益155百万円減の85百万円、経常利益140百万円減の110百万円、親会社株主に帰属する当期純利益110百万円減の45百万円を見込んでおります。

なお、今回の通期業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。

※今後について

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供するクリエイション事業における、一般消費者向け「コンテンツサービス」につきましては、法人とのアライアンスを強化し成長を図ってまいります。

また、法人向け「ビジネスサポートサービス」につきましては、特に引き続きキッキング支援において高品質なツールを基にしたサービスの拡充で販売を促進し業績を大きく牽引してまいります。

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とするソリューション事業における「システム開発サービス」につきましては、企業の高いIT投資意欲を背景にコンサルティング力を強化し、ITコンサルティングを軸としたトータルソリューションサービスの提供に向けて顧客の開拓と深耕を推し進めてまいります。

また、「業務支援サービス」につきましては、AIの対応等で引き続きIT人材需要が高止まりする中、大手企業に対する豊富な支援実績を基に営業を強化してまいります。

2. 個別業績予想の修正について

2026年5月期通期個別業績予想の修正(2025年6月1日～2026年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2025年5月期)	百万円 2,150	百万円 △32	百万円 △33	円 銭 △0.86
当期業績予想(B) (2026年5月期)	2,130	△15	△10	円 銭 △0.26
増減額(B-A)	△20	17	23	
増減率(%)	△0.9	—	—	

<開示理由>

当事業年度における業績につきましては、予想開示を省略しておりましたが、以下の理由により、前事業年度の実績値との差異が生じる見込みとなりましたので開示いたします。

売上高につきましては、ソリューション事業が伸長するものの、クリエイション事業の「コンテンツサービス」において通信キャリア向け定額制コンテンツの減少、月額コンテンツの広告戦略の見直しにより、20百万円減の2,130百万円を見込んでおります。

経常利益、当期純利益につきましては、広告宣伝費を中心とした販管費のコスト削減に努め、前期実績値を上回る見込みです。

(注)上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報及び合理的と判断できる情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は予想数値と異なる場合があります。

以上